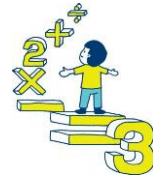




数 学 科



効果的な勉強の仕方のポイント 整理と対策の利用の方法

数と式・・・毎日、5問でもいい！計算は訓練！

- ① まず、自分の力で解く。解き方がわからないときは、さっさと答えをみて解き方を確認すること。時間をかけて悩まない！
- ② 途中の式は必ず残しておく。
誤答のチェックをするときに役に立つ。
- ③ 答えをよく見て、間違えた問題だけチェック！
問題の方に印をつけておいて、自分の苦手な計算の種類を知る。
- ④ もう一度、間違えたところを解く。
(間違えた問題は印をつけておく。)

必ずマスターしておきたい計算
1年・・・正・負の計算，文字式，
方程式
2年・・・連立方程式，等式の変形
3年・・・展開公式，因数分解，
平方根，二次方程式

関数・・・解き方のパターンの代表は“代入“

似ている問題を多く解いて，“初めまして”の問題を減らそう。

関数確認ポイント（基本的な技能）

- 座標がとれるか？ 例，点（-1，2）は，座標軸のどこの位置？
- 比例，反比例，一次関数，2乗に比例する関数の式の形を言えるか？
- 「関数の式をつくる」問題がマスターしているか？
- 変化の割合，変域，交点の座標を求める問題がマスターしているか？

4つクリアできたら，

実力テストに出るような大問をやっていこう。

時間をかけてもわからない問題は解説をみる。

解説をみて，解き方の方法を知る。分からないときそのままにしておかず，先生に必ず質問をする。

資料の活用・・・この分野を軽く扱わないようにしましょう。

確認ポイント

- 度数分布表，ヒストグラム，階級値，中央値，平均値，最頻値，
範囲が求められるか
- 有効数字の理解ができているか。
- 確率の求め方・・・樹形図と表が書けるか。

図形の分野・・・似たパターンの問題は多い。“初めまして”の問題を減らすこと

図形確認ポイント

- 垂直二等分線・角の2等分線，垂線の作図ができるか。
 - 平行移動，回転移動，対称移動の作図ができるか。
 - 投影図や回転体から立体名が答えられるか。
 - 円錐，円柱，三角錐，(正)三角柱，(正)四角錐，(正)四角柱の立体の見取り図と展開図が書けるか。
 - 円錐と円柱の表面積と体積が求められるか。
 - 対頂角，錯角，同位角を使って角度が求められるか。
 - 二等辺三角形，直角三角形，正三角形，平行四辺形，円の性質を理解しているか？
 - 三角形の合同及び相似，直角三角形の合同，平行四辺形になる条件がいえるか。(証明のパターンを覚えているか。)
 - 円周角の定理と三平方の定理で，角度及び値を求めることができるか。
- チェックが入らない所を，夏休みまでに整理と対策を使って，チェックが入るように**同じ問題を繰り返しやろう。**

図形は，じっと眺めていても問題は解けない。問題から得られる値などの情報を書き込んで解く癖をつけよう。

手も足もでない問題については，さっとあきらめて解説を見て解く。

Q 公式をどのように覚えたら良いか。

A 図形の性質の理解で覚える。声にだして覚える。書いて覚える。

それを繰り返して，このパターンの問題の解き方は・・・だと解き方を知っていく。解説をみて分からないときは必ず先生に質問をする。

今から数学の実力をアップするための五箇条～

- 一. 間違えっぱなしにしない。
- 二. 計算問題(問1)と大問の問1は確実に解けるようにする。
- 三. 大問の問2は，パターンで解き方を身につけようにする。
- 四. 実力テスト前に過去の実力テストで間違えた問題を再度解く。
時間を測ること，限りある時間の中で解く練習をすること。
- 五. 問題を読みながら，数直線や表をめんどくさいと言わず書いて関係を把握できるようにする。